

平成26年度予算のポイント
(事業集)

目次

1 地域経済の活性化

- ① 商工業振興 1
- ② 農業振興 2
- ③ 雇用対策 3

2 にぎわいづくり

- ① まちなかのにぎわいづくり 4
- ② 「軍師官兵衛」を活用した三木市PR 5
- ③ ゴルフによるにぎわいづくり 6
- ④ 市制施行60周年記念事業の実施 7

3 若者・女性施策の充実

- ① 若者の定住促進 8
- ② 女性が活躍するまちづくり 9

4 子育て・教育の充実

- ① 子育て環境の充実 10
- ② 教育の充実 11
- ③ 幼保一体化の推進 13

5 高齢者等の福祉・健康の充実

- ① 元気な高齢者の増加 1 4
- ② 地域介護の推進 1 5
- ③ 障がい者対策の充実 1 6

6 安全・安心づくり

- ① 交通施策の推進 1 7
- ② 防災対策の充実 1 8

7 まちの経営

- ① 市民病院の健全な経営 1 9
- ② 直通バスの効率的な運行 2 0
- ③ 道路、橋及び公園の計画的な整備 2 1
- ④ 情報発信 2 2

1 地域経済の活性化

① 商工業振興

(商工課)



商業・工業の活性化

市内総生産額の拡大



新 設備投資の促進に向けての支援

【 4, 000万円 】

[目的]

中小企業の設備投資を喚起

[対象]

市内で製造業を営む中小企業者

[支援の内容]

機械、設備などの導入費用について1/3を補助
(上限300万円)

新 中小企業サポートセンターの開設

【 2, 272万円 】

[目的]

中小企業の創業や経営革新、経営改善、新製品開発等を総合的に支援

[支援の内容]

経営相談、企業訪問、研修会等

[運営開始日]

平成26年4月1日



新 海外との経済交流の推進

【 150万円 】

[目的]

将来的なミャンマーとの経済・産業面での交流

[実施内容]

市内企業の海外進出に向けた事前調査のため、ミャンマーへの視察、訪問を実施



拡 融資制度の拡大

【 2億1, 773万円 】

[目的]

小規模事業者の創業や経営改善への取組を支援

[支援の内容]

「小規模事業者無担保無保証人資金」を次のように拡大

- ① 貸付限度額 (1,000万円→1,250万円)
- ② 利子補給の割合 (20%→100%)
- ③ 信用保証料の補給割合 (50%→100%)
- ④ 追加融資、借換えのための融資要件を緩和

② 農業振興

(農業振興課)

農業の経営基盤を強化

農業所得の向上、担い手の確保を推進



新 山田錦の生産拡大への支援

【 1, 125万円 】

[目的]

山田錦の生産拡大による農業所得の向上

[対象]

山田錦の増産のために休耕田（900ha）などを活用して作付を行う農業者

[支援の内容]

増産に当たる作付面積（三木市全体で150ha）に応じて補助金を交付（7,500円/10a）

新 農産物生産コスト低減の取組への支援

【 300万円 】

[目的]

農業の担い手の経営基盤の強化を促進

[対象]

集落営農組織、認定農業者

[支援の内容]

生産コスト低減（水稻直播、疎植等）を目的とした機械等の導入費用について1/3を補助（上限100万円）



新 集落営農組織の法人化への支援

【 30万円 】

[目的]

営農体制の強化を促進

[対象]

新たに農業法人に移行する集落営農組織

[支援の内容]

法人化により必要となる事務的経費について1/2を補助（年間上限10万円、5年間継続）



新 日本酒の消費拡大への取組

【 ゼロ予算 】

[目的]

「日本酒による乾杯」の推進による消費拡大

[実施内容]

のぼりやチラシ、卓上ディスプレイなどを飲食店等に配布するなどして、「日本酒による乾杯」の周知啓発を実施



③ 雇用対策



市内での就職、継続した就労を支援



雇用の場の確保、労働環境の改善

新 介護従事者の処遇改善への支援
(介護保険課)

【 860万円 】

[目的]

介護福祉士資格の取得費を助成し、
介護従事者の離職を抑制

[対象]

介護福祉士資格の取得希望者

[支援の内容]

実務者研修費用及び受験料について
1/2を補助 (3年を限度)



新 「(仮称)三木市公契約条例」
の制定 (総務課)

【 20万円 】

[目的]

労働環境の改善と工事や業務委託
等の質の向上

[対象]

- ① 予定価格5千万円以上の工事
- ② 予定価格1千万円以上の業務
委託(清掃、管理等に限る)
- ③ 公の施設の指定管理

[内容]

市が締結する契約等について、賃
金の下限等を規定
(平成26年3月市議会に上程)



企業誘致の推進 (秘書課)

【 2億5,000万円 】

[目的]

企業誘致を推進し、新たな雇用を
創出

[対象]

情報公園都市等に進出する企業
(助成内容ごとに要件あり)

[主な助成内容]

- ① 水道料金または電気料金を助成
(15年間~30年間)
- ② 固定資産税及び都市計画税相当
額を助成
(5年間)
- ③ 市内在住者の正規従業員として
の雇用を助成
(上限10万円/人、5年間)

2 にぎわいづくり

① まちなかのにぎわいづくり



まちなかのにぎわいの創出

人が集まるしかけづくり



新 みきマルシェ(定期市)の開催(秘書課) 【 450万円 】

[目的]

人口減少や高齢化などにより寂れている中心市街地や商店街のにぎわいの創出

[実施内容]

平成26年度は、みきマルシェ(定期市)を2~3回程度開催する

[第1回目]

開催日 平成26年5月25日(日)

場 所 明盛商店街

新 空き店舗の活用促進(文化スポーツ振興課)

[目的] 【 300万円 】

城下まちゾーン(旧三木城下であった中心市街地)のにぎわい再生

[支援対象]

城下まちゾーン内の商店街の貸主、借主

[支援内容]

①貸主 店舗貸出奨励金50万円を交付(一時金)

②借主 工事費用の1/2を補助(上限50万円)

※家賃については、チャレンジショップ事業による補助が既にあり、併用可能

新 まちなか食べ歩きマップの作成(3月補正)
(観光振興課) 【 66万円 】

[目的]

観光客が旧市街地を巡ることにより、まちなかのにぎわいの創出

[実施内容]

旧市街地の商店で利用できるクーポン券のついたマップを無料配布し、観光客を旧市街地に呼び込む

② 「軍師官兵衛」を活用した三木市PR



歴史によるにぎわいの創出

人が市内に集まり、また市内を巡る



新 演劇セミナーによる「虹、つどうべし」の公演
(観光振興課、文化スポーツ振興課)

【 500万円 】

黒田官兵衛と三木合戦を題材とした、玉岡かおる氏の「虹、つどうべし」をプロの俳優と市民とが一体となって公演

[公演] 平成27年3月 [場所] 三木市文化会館

新 創作オペレッタ「三木合戦」の公演
(観光振興課、文化スポーツ振興課)

【 110万円 】

三木合戦を題材とした、市民による創作オペレッタを公演

[公演] 平成26年9月

[場所] 三木市文化会館

新 NHK番組（土曜スタジオパーク）によるPR
(観光振興課、文化スポーツ振興課)

【 100万円 】

[放送日] 平成26年4月12日(土)

[時間] 13:50~14:50

[会場] 三木市文化会館大ホール

[ゲスト] 「軍師官兵衛」主演：岡田准一さん(黒田官兵衛 役)、中谷美紀さん(光〔てる〕 役)

新 秀吉本陣跡でお茶会の開催 (観光振興課、文化スポーツ振興課)

【 39万円 】

[目的]

「軍師官兵衛」で三木市が放映される時期に当時の状況をしのび、秀吉が行ったといわれる茶会を開催

[実施内容]

日時 平成26年4月27日(日)

10:00~14:00

会場 秀吉本陣跡駐車場

特産品の開発 (観光振興課)

【 100万円 】

[目的] 特産品の育成と観光の振興

[支援内容] 特産品開発費用に対し補助
(上限50万円×2件)

③ ゴルフによるにぎわいづくり



ゴルフによるにぎわいの創出



三木市のPR、ギャラリーやゴルフ場への来客を市内に誘客

新 吉川町商工会の実施する地場産業振興事業を支援（商工課）
【目的】 【 150万円 】

ゴルフ場の振興と吉川町産業の活性化及び雇用の確保

[支援内容]

吉川町商工会の実施する下記の事業に対して支援

- ①ゴルフ場の売店で、吉川町商工会の商品を販売
- ②吉川町内12か所のゴルフ場のPR

新 プロゴルフ大会での三木市のPR
（広報広聴課、観光振興課） 【 10万円 】

[目的]

日本女子プロゴルフ選手権大会（コニカミノルタ杯）において、三木市のPRを行う

[PR方法]

- ①大会ボランティアへ市民参加の促進
- ②ギャラリーコーナーへの出店
- ③優勝者への三木市特産品の進呈
（※他に開催されるプロゴルフ3大会でも優勝者に進呈する）

三木市長杯の開催
（文化スポーツ振興課）
【 130万円 】

[目的]

県内に「ゴルフのまち」三木を発信

[内容]

県内から出場者を募り、三木市長杯を開催する

ジュニアゴルファーの育成
（文化スポーツ振興課）
【 93万円 】

[目的]

ゴルフの振興

[内容]

ゴルフ塾を開催し、ジュニアの育成を行う

④ 市制施行60周年記念事業の実施 (企画財政課)



ふるさと三木への誇りづくり



① 新 祭り屋台大集合 【 2, 500万円 】

三木市の持つ素晴らしい伝統文化である祭り屋台が市内各地から集結し、市民の絆を深める。

[開催日] 平成26年10月25日(土)

[場所] 三木山総合公園陸上競技場

② 新 三木市PR事業 【 1, 026万円 】

①三木の四季折々、祭りなどの番組を制作し、三木への愛着と誇りを育む。

②NHK公開番組「BS日本のうた」を誘致し、三木市を全国にPR
(平成26年6月収録予定)

③ 新 市民パレードの実施 【 600万円 】

[実施内容]

みっきい夏まつりにおいて、市民パレードを実施。夏まつり実行委員会とは別組織で実行委員会を立ち上げ、同時開催。

[開催日] 平成26年7月26日(土)

④ 新 記念表彰式 【 200万円 】

長年にわたって市政の発展に尽くされた人や団体、自発的な意思に基づき継続して市民や社会に貢献した人や団体等を表彰する。

[開催日] 平成26年7月6日(日)

[場所] 教育センター

市史編さん 【 1, 100万円 】

15年計画により、三木市の全体史及び各地区の地域史を作成し、貴重な歴史を後世に伝える。

[26年度実施内容]

・基本計画素案の作成、資料収集開始、体制の整備 など

3 若者・女性施策の充実

① 若者の定住促進

若者の働く場所、住む場所を確保し、地元志向を高め、人口減少に歯止めをかける

新 新築家屋の固定資産税軽減（定住促進助成金事業）（子育て支援課）
【 1, 400万円 】

[目的]

若者の定住基盤となる住宅の取得を支援

[支援の内容]

平成30年1月1日までに、40歳未満の夫婦が家を新築または購入した場合、固定資産税等相当額を助成

新 映画上映会（文化スポーツ振興課）
【 200万円 】

[目的]

若者が楽しめる場を提供し、暮らしを豊かにする

[実施内容]

- ・文化会館で定期的に映画を上映（運営委員会を立ち上げ検討し、10月以降、5回程度）
- ・入場料500円

新 「緑が丘」まちの再生検討事業（美しいまちづくり課）
【 100万円 】

[目的]

若者が住みやすい住環境整備

[実施内容]

緑が丘において、まちの再生方針を作成するため、地域住民が主体となった検討会開催を支援



新 イベントやまちづくりへの参画促進
【 ゼロ予算 】

[目的]

イベントやまちづくりに若者が参加することにより、まちへの愛着を高める

[実施内容]

みきマルシェ(定期市)や、映画上映会の実行委員会などに若者や女性のアイデアを積極的に活用

② 女性が活躍するまちづくり

女性がチャレンジし、幅広い分野で活躍する社会をつくる

新 起業する女性を支援（女性の起業家支援事業）
（商工課）

【 97万円 】

[目的]

女性が起業しやすい環境づくり

[実施内容]

起業セミナーや勉強会を開催するなど、女性起業家を総合的に支援

- ・女性企業家による起業セミナー
- ・中小企業診断士などによる相談会
- ・女性起業家の要望に応じた専門家の派遣

新 女性の悩みを解決（女性法律相談事業）
（人権推進課）

【 48万円 】

[目的]

法律手続が必要な事案について、弁護士による相談を実施して女性の悩みを解決

[実施内容]

毎月1回開催

（対応する相談事例）

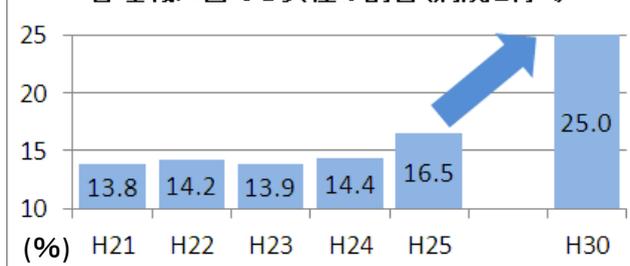
- ・DV被害
- ・交際トラブル（ストーカー被害等）
- ・夫婦間のトラブル（離婚、借金等）

拡 市管理職へ女性職員の登用（総務課）

【 ゼロ予算 】

管理職に占める女性の割合を5年間で25%まで引き上げます。

管理職に占める女性の割合(病院を除く)



4 子育て・教育の充実

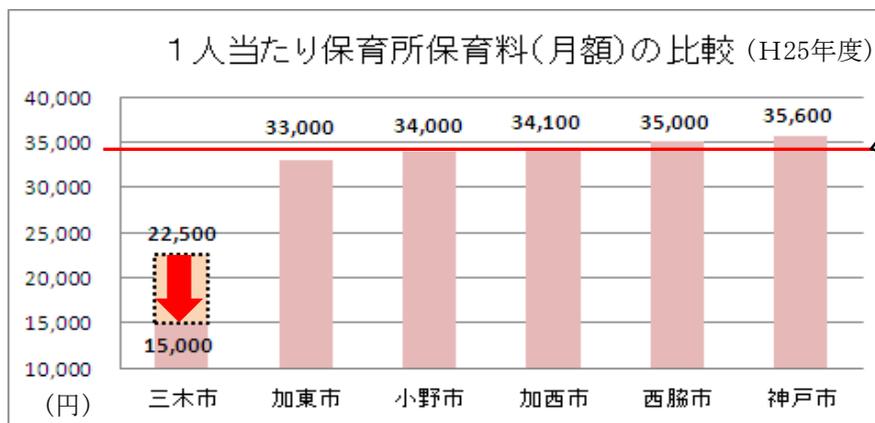
① 子育て環境の充実

子育ての負担、不安を解消し、安心して生み育てられる社会をつくる

拡 保育所・幼稚園の保育料の負担を軽減（保育料軽減事業）（子育て支援課・学校教育課）

【 2億6,057万円 】

県内唯一
保育料50%軽減
(所得制限あり)



県内平均
34,200円



〈保育料試算データ〉
所得税50,000円
3歳未満児のケース

新 夫婦での子育て分業（男性の育児参加促進事業）（子育て支援課）
【 198万円 】

[目的] 夫婦で協力して子育てできる環境を促進

[実施内容]

- ・市内の公民館や教育センターを会場に、男性子育てキャラバンを開催
- ・男性にも育児に積極的に参加してもらうために、母子手帳交付にあわせて男性向け育児ガイドを配布

新 婚外子差別の解消（子育て支援課・建築住宅課）
【 80万円 】

[目的] 婚姻歴のないひとり親家庭に寡婦(夫)控除をみなし適用し、経済的な負担を軽減し、子育てしやすい環境を整備

[実施内容] 対象者からの申請に基づき「保育所保育料」「市営住宅家賃」について寡婦(夫)控除をみなし適用する

② 教育の充実(その1)

子どもたちの心身の健やかな成長を支える

新 図書館の充実(中央図書館整備事業)(図書館) 【 7億7,087万円 】

[目的]

質の高い図書サービスを提供し、教育・文化の振興を図る

[実施内容]

平成26年4月(着手)～平成27年3月(完成)
平成27年7月オープン

[施設概要]

- ・鉄筋コンクリート造2階建 2,121.82㎡
- ・蔵書数 12万冊

建築工事費については、当初4.9億円の予定としていましたが、約1.6億円増加し、6.5億円となる見込みです。

[増加の要因]

- ・震災復興や、国経済対策等による建設需要の増加に伴う建築物価の高騰・・・1億円
- ・詳細な設計をしたことにより、新たに必要となった地盤改良費など・・・0.4億円
- ・消費税増税(5%→8%)・・・0.2億円



拡 人権教育事業を充実(人権推進課) 【 1,000万円 】

[目的]

三木市人権・同和教育協議会(三同教)の活動を充実し、市全体において部落差別をはじめとするあらゆる人権問題を解決

[実施内容]

- ・三同教に専門員1名を増員
- ・青少年教育事業補助金を新設
- ・従来の「地域学習活動等補助金(543万円)」を廃止

② 教育の充実(その2)

子どもたちの心身の健やかな成長を支える

拡 特別支援教育指導補助員を増員(学校教育課)
【 1, 030万円 】

LD(学習障害)など特別な支援が必要な児童・生徒に対応する指導補助員を6名増員

- ・幼稚園： 8人 ⇒ 11人(3名増)
- ・小学校： 25人 ⇒ 27人(2名増)
- ・中学校： 6人 ⇒ 7人(1名増)

拡 教員の指導力向上(確かな学力向上プロジェクト)(学校教育課)

【 90万円 】

[目的]

教員の指導力を向上し、子どもの応用力向上を図る

[実施内容]

- ・「教員向け指導事例集」の作成
- ・教職員研修の実施

新 ふるさと三木の愛着や誇りづくりをすすめる(ふるさと教育出前授業)(文化スポーツ振興課)
【 ゼロ予算 】

[目的]

ふるさとの歴史を知ることにより三木への愛着を育む

[実施内容]

専門的な知識を持っている市職員が小学校の郷土学習などにおいて三木城や付城・土塁など三木合戦の歴史を説明



③ 幼保一体化の推進

幼保連携型認定こども園へスムーズな移行を進める

新 幼保一体化合同研修会を開催(子育て支援課)

【 398万円 】

①オリエンテーション (4月)

〈研修項目〉
「幼保連携型認定こども園」の仕組みについて



② 交流研修 (前半、6～10月) 民間保育所 3園

〈研修項目〉
・乳幼児保育実習
・異年齢児交流見学
〈研修対象者〉
幼稚園教諭

交流研修 (前半、6～10月) 公立幼稚園 3園

〈研修項目〉
・4・5歳児保育見学
〈研修対象者〉
保育所保育士

③ 総括研修 (10月)

〈研修項目〉
・幼稚園、保育所の長所を生かした新たな「幼保連携型認定こども園」への移行について



[目的]

幼・保並びに公・民それぞれの能力と良さを合わせもつ人材を育成

- ・②③を1サイクルとして半年間で実施
- ・H26～H27の2か年で、合計4サイクル実施
- ・対象は、公立、私立のすべての保育所保育士、幼稚園教諭
- ・交流研修への参加は、交流実施園(幼・保各3園)へ対象者1人につき年間を通じて2回
⇒2か年で1人が4回参加

(参考) ●幼保一体化計画策定スケジュール

- H26. 8月末までに保護者代表も参加する中で「素案」を作成
- H26. 9月からH27. 3月まで、「素案」について「意見交換会」を開催
- H27. 4月から「成案」作成
- H27. 6月「成案」を決定し、9月まで成案の「報告会」を開催
- H27. 9月「幼保一体化計画」の確定

5 高齢者等の福祉・健康の充実 ① 元気な高齢者の増加

高齢者の「健康づくり」「仲間づくり」「生きがいづくり」により地域活力を増進

新 歩いて暮らす健康づくり
(健康増進課・文化スポーツ振興課)
【 150万円 】

- ・ ウォーキングコースや医学的効果を紹介したポスター、パンフレットを作成
- ・ 公民館などでウォーキング講習会を開催
- ・ 毎月1回実施する歴史ウォークのコースマップを作り、参加を呼びかけ



新 健康優良世帯を表彰(医療保険課)
【 30万円 (国民健康保険会計で実施) 】

1年間を通じて病院に全くかからなかった家庭に記念品を贈呈

拡 高齢者ボランティアポイント制度を福祉施設以外での活動にも拡大(介護保険課)
【 230万円 (介護保険会計で実施) 】

ポイントの付与を介護予防教室など市が認める高齢者へのボランティア活動にも拡大

拡 肺炎球菌ワクチン接種費の助成
(健康増進課) 【 1,000万円 】

[目的]

高齢者の死亡率が高い肺炎を防ぐため、ワクチン接種対象者を拡充

[対象]

75歳以上 → 65歳以上に拡充

[助成額]

1回当たり4,000円 (接種費の半額)



拡 老人クラブへの助成範囲を拡大(福祉課)
【 38万円 】

20人～29人の老人クラブにも助成を拡大

会員数	補助金	
	現行	26年度以降
30人以上	100,000円	100,000円
25～29人	0円	75,000円
20～24人	0円	50,000円



② 地域介護の推進（介護保険課）

三木市の実情に即した「地域包括ケアシステム」の構築

「施設介護」から「地域介護」への転換

新 第6期介護保険事業計画の策定
【480万円（介護保険会計で実施）】

平成27年度～平成29年度の3か年の介護保険事業計画を策定

新 スーパー特養により地域介護体制を充実
【300万円】

[支援内容]

特別養護老人ホーム等（市内6施設）に生活援助員を配置し、在宅での介護をしやすいように見守り活動を行う。

[助成額]

1施設当たり100万円

拡 地域ケア会議をモデル的に実施 【115万円】

25年度に緑が丘地区で実施した「地域ケア会議」を全市的に試行実施

サービス担当者会議

- ・担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）が主催
- ・本人、家族、サービス事業者、ホームヘルパーなど関係者により、ケアプランを検討

事例提供

地域ケア会議

- ・「地域包括支援センター」が主催
- ・個別ケースへの支援内容を通じた
 - ① 地域支援ネットワークの構築
 - ② 高齢者の自立に向けたケアマネジメントの支援

支援

地域課題の把握

「地域づくり」
「資源開発」
「政策形成」



③ 障がい者対策の充実（障害福祉課）

障がいのある方が暮らしやすい環境づくり

新 発達支援相談員の配置

【 262万円 】

専門的助言を行う相談員を配置し、発達に支援が必要な子どもとその保護者の相談窓口を一本化

3歳・5歳児発達健診

相談

★発達支援相談員

- ・訪問支援・専門的助言
- ・「さぽーとノート」の活用推進・管理
- ・関係機関との連携

調整

あんしん相談窓口

- 子育てコーディネーター
- 教育コーディネーター
- 生活コーディネーター

新 障がい児アフタースクール、児童発達支援事業の運営準備

【 200万円 】

〔目的〕

障がい児アフタースクール（放課後等デイサービス事業）と児童発達支援事業の拠点を整備

〔開設時期〕

平成27年4月

〔場所〕

旧市民病院管理棟



障がい者雇用促進助成事業

【 200万円 】

〔目的〕

障がいのある方の雇用促進

〔内容〕

法定雇用率を超えて市内在住の障がい者を雇用する事業所に対し、助成金を交付

福祉コンビニで障がい者団体などが作る製品を販売

【 ゼロ予算 】

〔目的〕

障がい者団体や施設で作る製品のPR

〔内容〕

製品を福祉コンビニで販売
市役所設置の展示コーナーの配置を改善

今後高齢者等の車の運転をしない人が増加することを見据え、交通施策を充実

神戸電鉄栗生線活性化事業

【 1億2,539万円 】

神戸電鉄福祉パス

神戸電鉄全線の8日間フリーパスを交付

※平成23年度から25年度までの3か年限定事業を延長

⑤ フレッシュマン通勤支援助成

新採用者を対象に、神戸電鉄の通勤定期代の半額を補助（市民又は市内企業勤務者が対象）

⑤ 北播磨総合医療センター神戸電鉄利用費補助

運賃の一部（1人あたり300円）を補助

※神戸電鉄榎山駅に乗車証明用の発券機を設置。病院案内にて支給。

⑤ 神戸電鉄利用助成

利用助成対象団体を拡充

（対象：学校、自治会、老人クラブ、子ども会）

※その他、神戸電鉄栗生線活性化協議会負担金、神戸電鉄栗生線維持・存続補助金等を負担。

⑤ 「協議会」（法定協議会）の設置

【 50万円 】

市民ニーズにより即した市全体のバス交通の体系を創りあげていく。

（例 直通バスにおける途中乗降の導入、みっきいバスや路線バスと神戸電鉄とのさらなる連携強化など）

⑤ みっきいバスの利便性を向上

【 5,600万円 】

各ルート間の乗り継ぎへの配慮、神戸電鉄との接続の強化などを目的に、運行ルート及び便数などの見直し

⑤ みっきいよかたんバスの利便性を向上

【 2,530万円 】

小型バスを1台増車し、隔日運行を平日の毎日運行に変更、フリー乗降区間の追加 など

② 防災対策の充実



災害に備え、安全・安心なまちへ



⑧ 避難所の安全確保（教育環境整備課） 【 1億8,790万円 】

- ・避難所として指定している学校の体育館の非構造部材を耐震化（平成25年度3月補正）

⑨ 情報伝達手段の確保（危機管理課） 【 710万円 】

- ・衛星携帯電話を導入し、市役所と吉川支所との連絡手段を確保
- ・避難所での安否確認連絡手段として、特設公衆電話を導入（差込口までの配線工事はNTTが無償で施工済）
- ・外国人向けにHP等で多言語による防災情報を発信 など

⑩ 地域防災力の強化（危機管理課） 【 1,290万円 】

- ・自主防災組織等の防災訓練の充実
一次避難所を拠点とした防災訓練の推進
（安否確認、在宅避難者の把握、被害状況確認）
- ・備蓄物資等の購入を補助

補助対象	補助率	補助上限	
		資機材、備蓄物資	防災倉庫
自主防災組織	2/3	10万円	50万円
自主防災組織連合体	2/3	20万円	100万円

- ・市の備蓄物資等の分散配備
（アルファ化米、毛布、マンホールトイレ など）



7 まちの経営

① 市民病院の健全な経営

市民病院の健全な経営

病院の魅力を高める

拡 病院による経営努力

患者と医療人を魅きつけるマグネットホスピタルを地域とともに築き、理想の医療を提供。

経営安定化のための目標

- ・ 北播磨地域の中核病院としての必要な機能を発揮するため、早期に病棟をフルオープン
- ・ 医療スタッフの人材確保・人材育成
- ・ 市民病院として、積極的な広報活動を展開



利用者が通院しやすい環境を整える

新 市民病院の経営の安定化を支える施策の充実 (美しいまちづくり課)

高齢者が増加する中で、通院しやすい交通手段の確保が必須。

・ 直通バスの運行を支援

【 2億5,000万円 】

外来患者の3人に1人の方が利用されている直通バスの運行を支援

・ 神鉄での来院に対する補助

【 250万円 】 (再掲)

運賃の一部 (1人あたり300円) を補助



② 直通バスの効率的な運行 (美しいまちづくり課)

効率的な運行のための見直し

【25年12月】(実施済み)
始発時間を1時間繰上げ

【26年 4月】
利用者数の少ないルートやバス停を縮小・
廃止する一方で新たなルート・バス停を新設

将来的な見直し (再掲)

バス交通の「法定協議会」を設置
市民ニーズにより即した市全体のバス
交通の体系を創りあげていく。

〔例 直通バスにおける途中乗降の導入、
みっきいバスや路線バスと神戸電鉄
とのさらなる連携強化 など〕

市民病院の経営と直通バス

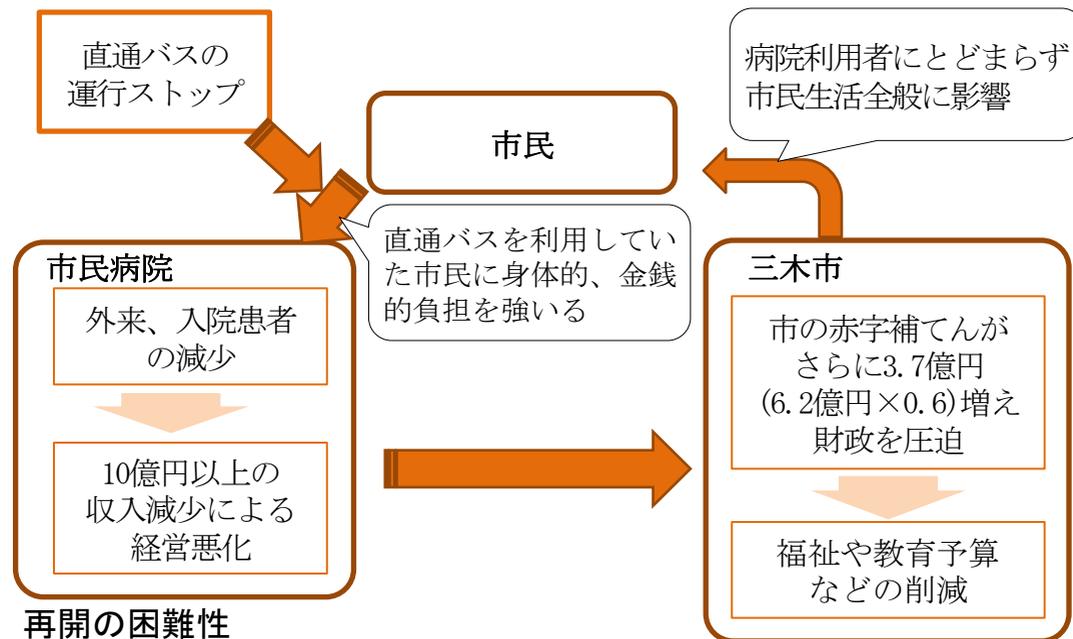
- ・直通バスで来院される患者による平成26年度の病院収入は、10.3億円となり、病院収入118億円の約1割
- ・経費等が4割かかるため、収益は収入10.3億円のうち6.2億円
- ・病院経営と直通バスとは切っても切り離せない関係

参考

直通バスの運行がストップした場合の影響

1 市民、病院経営並びに市財政への影響

- ①通院される市民の皆様への乗り継ぎ等の身体的かつ金銭的負担
- ②外来患者の減少による市から市民病院への赤字補てんの増大
- ③市の財政に大きな影響を与え、市民生活全般に影響



2 再開の困難性

一旦、直通バスの運行がストップすると

- ・バス事業者は使用している車両などを処分
- ・市とバス事業者との信頼関係が崩れ、再開する場合においても事業者が見つからない

二度と直通バスの運行を再開することは不可能

③ 道路、橋及び公園の計画的な整備

(道路河川課、美しいまちづくり課)

高度経済期に建設した道路や橋等を計画的に整備し、安全なまちへ

④ みきインフラ・メンテナンス事業

[平成26年度から平成35年度までに実施する内容]

対象施設		施設数等
道路	幹線道路舗装	主要な幹線道路 1.5 km
	市街地道路舗装	市街地道路 2.0 km (三木 2 km、緑が丘 7 km、 自由が丘 4 km、青山 7 km)
橋梁		修繕や架け替えが必要で優先順位の高い橋 約 2.0 橋
公園		三木山総合公園・吉川総合公園・その他の公園 7 箇所の改修・補修

総事業費 約 40 億円

(年間事業費約 4 億円×期間 10 年間)

平成 26 年度 of 取組内容

【 3 億 1, 400 万円 】

- ・ 道路の舗装
(生活に密着した道路、市街地道路など約 6.3 km)
- ・ 橋の実施設計 (平田橋外 9 橋)
工事 (平田橋外 5 橋)
- ・ 公園の維持補修
(吉川総合公園文化体育館の吊り天井耐震補強工事など)

(参考)

平成 25 年度 3 月補正の取組内容

【 9, 200 万円 】

- ・ 公園の維持補修
(フェンス、バックネットの補修など)
- ・ 道路や橋梁の付帯設備の総点検



④ 情報発信

三木市の知名度の向上・イメージアップで、来てみたいまち、住んでみたいまちへ

⑧ 特産品のPR強化(観光振興課)

【ゼロ予算】

[目的]

市内外で実施されるイベント会場等に三木市の特産品コーナーを設け、市内外の人の目に触れる機会を増やす。

[出店例]

- ・官兵衛イベント
- ・物産展
- ・ゴルフ大会 など



ふるさと納税による特産品等のPR(企画財政課)

【285万円】

[目的]

ふるさと納税のお礼として、三木市の特産品等をPRする

[対象]

1万円以上ふるさと納税をされた人

[参考]

ふるさと納税申出件数の推移

年度	申出件数
23	374
24	764
25	1,689

4.5倍!

みつきい情報ミュージアムによる情報の発信(広報広聴課)

【55万円】

[目的]

市内外に最新の情報を発信し、情報を使った交流のまちづくりを促進

[実施内容]

市民や団体がもつさまざまな情報をインターネットを介して発信

みつきい情報ミュージアム

- ・イベント、観光情報
- ・お得情報
- ・新商品、新製品情報
- ・求人情報 など



情報発信